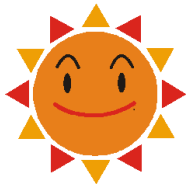




←ご意見、ご要望、感想をお寄せください！

カラー（PDF）での配信を希望される方はコチラ！→



## 夏休みわくわく体験特集

### 子どもたちは、暑い中でも元気です!!

#### ① 帝京科学の夏まつり at 帝京科学大学

○日時 7月21日（日）9:00～12:00

○場所 帝京科学大学

○参加者 北都留地区の小学生を中心に136名

○内容 帝京科学大学の学生が、それぞれの研究分野での学びを生かした24のプログラムを用意し、子どもたちを大いに楽しませてくれました！（プログラムの一例は以下の通りです）

「くるくる巡る冒険！草迷路」

「夜の観察会～とびこめ虫嵐！体験！ライトアップ」

「アニマルバスボム（入浴剤）を作ろう！」

「ちりめんモンスターを探そう！」

「えっホント？洗濯のりからスライム誕生！」

「モルモットとふれあってみよう！」

○感想

「いろいろなプログラムがあって楽しかった。ものを作ったり、動物にふれたりして楽しかったです。また今度来たいです」（小4女子）

「お姉さんやお兄さんがとてもやさしく、また来ようと思いました」（小3男子）

「リクガメがかわいかったです。ちりモンもおもしろかったので家でもやろうと思います」（小5男子）

「毎年内容が創意工夫されておりワクワクドキドキさせられます。来年も楽しみにしています」（保護者）

「子どもの自由研究や製作意欲のよい刺激となり助かっています。子どもたちも楽しそうに普段体験できないことをしていて、ここからまた新しい発想が生まれることを願います。来年も新しいプログラム期待しています」（保護者）



ちりめんモンスターを探そう！のブース



親子で楽しんでいます！



帝科アクアリウム



「スライム何色にする？」



お家や学校でできない体験も！



いろいろな動物とふれあえます！



プリコラにもたくさんのブース！



夜は虫取り！カブトムシよ来い！



## ② 親子カルチャー教室 at 富士北稜高校

- 日 時 7月20日(土) 9:00~12:00  
 ○場 所 富士北稜高校  
 ○参加者 南都留地区(都留市、西桂町、道志村を除く)の小学4~6年生22名とその保護者  
 ○内 容 高校生がミニ先生として、高校での学習を生きかし、子どもたちを楽しませるプログラムを実施してくれました!実施した項目は以下の通りです。

【 】…担当系列

- ・端切れを活用してポーチを作ろう!【福祉健康】
- ・カレンダーを作ろう!【総合ビジネス】
- ・メカ動物(歩くロボット)を作ろう!【電気情報】
- ・鋳物でオリジナル作品を作ろう!【機械テクノロジー】
- ・木製収納箱を作ろう!【建築デザイン】

○感想

「ミニ先生が、出来ないことや難しいところを教えてくれていい作品ができたことが一番嬉しかったです」(小学生)

「北稜高校のことも知れたし、教えてくれたお兄さんが優しく教えてくれたから楽しかった」(小学生)

「普段できないことを体験できたので楽しかったです!ミニ先生も優しく最高でした!」(保護者)

「こんなに本格的な体験が出来るとは思ってなくて、参加して良かったです」(保護者)



開講式の様子



「はさみ、上手に使えるね!」



「エクセルって分かる?」



「手先が器用だね!」



「空気が通る穴を開けるよ!」



「塗料を塗って仕上げよう!」

## ③ 親子ふれあい体験教室 at 都留興譲館高校

- 日 時 8月10日(土) 9:00~12:30  
 ○場 所 都留興譲館高校  
 ○参加者 南都留地区(都留市、西桂町、道志村)の小学4~6年生18名とその保護者  
 ○内 容 高校生がミニ先生となり、授業で身につけた技術や技能を生かして、親子にもものづくりの楽しさを伝える体験教室です。詳細は以下の通りです。【 】…担当学科  
 燃料電池カーの製作【機械】、デジタル時計の製作【電子】  
 メタルプレートの製作【制御】、アクセサリ製作&電子顕微鏡観察【環境】、英語でクッキング【英語理数】

○感想

「ミニ先生やお父さんといっしょにいろいろできて、すごく楽しかったです」(小学生)

「ミニ先生が色々手伝ってくれて優しく教えてくれたから、とても楽しかったです」(小学生)

「普段できない体験を親子で出来ました。娘の発想力が豊かで感心しました。」(保護者)

「ミニ先生が作業のこと以外の豆知識も教えてくれたのでとても楽しく勉強になりました」(保護者)



開講式の様子



「先生、これどうすればいい?」



「難しかったけど、無事完成!」



「PCでうまくデザインできたね!」



「はい、どうぞ!」「ありがとう!」



「We made it!」



意見交換で本を深読み!!

## チャレンジ! 上高アニメーション

○日 時 7月31日(水) 10:00~11:30

○場 所 上野原高校 図書館

○参加者 北都留地区の中学生16名  
上野原高校図書委員7名

○内 容

アニメーションとはゲーム形式の読書です。

①事前に30ページほどの短編を読み内容を理解する

②バラバラになった本の一節やセリフを、友達と相談しながら正しい順番に並べ替える

③登場人物になりきった生徒が、他の登場人物やキャラクターからの質問に答える

○感想

「普段関わることのない他校の中学生や上高生と話したり質問し合ったりしているいろいろな考え方を知ることができた!」(中学生)

「アニメーションは楽しい!本の魅力を知れたり、いろいろな人と話せたりするから。これからも続けてほしい」(中学生)

「物語の登場人物になりきって質問に答えるのが楽しかった。本への理解が深まり楽しく中学生と交流ができた」(高校生)

「読書人口も減っている今だからこそ大事な行事。上高から読書を活発化させたいです!」(高校生)

アイズブレイクの様子



「このシーンどこだっけ?」



「私が前かな?」



答え合わせ。見事正解、拍手!!



登場人物とギャラリーに分かれます



登場人物になりきって、「いろいろウザくてイライラします!」(笑)

都留高校

出前授業!!

@都留第二中学校

○日 時 7/8(月)14:35~15:25

○場 所 都留第二中学校(2年生対象)

○内 容

都留二中の卒業生を含む都留高生2名による出前授業。都留高校の特色である探究活動「つる探」の概要説明と「私たちができること~POSTMAN PROJECTを通して~」をテーマとして探究活動で学んだことをスライドを用いて説明してくれました。都留高での学びについて中学生が知るとてもよい機会となりました。

○感想

「探究活動を通じて実際に世界とつながったことがとても素晴らしいと思いました。私も探究心を大切に学びたいと思います」(中学生)「探究活動の素晴らしさを広める活動に貢献できて嬉しかったです」(都留高生)



出前授業の様子



とてもわかりやすい説明でした!



真剣に話を聴く都留二中学生



とても活発な質疑応答!



# 吉田高校 『よのなか科』

- 日 時 7/10(水)13:35~14:25
- 場 所 吉田高校
- 対 象 普通科2年生45名、大人27名
- 講 師 藤原 和博先生
- 概 要

『世の中にはどんな仕事があるのか?』をテーマに、現在ある職業を掛け合わせ新たな職業を考え出す授業でした。

## ○感想

「普通の授業では考えないことを考えられておもしろい」「様々なテーマについて、大人の方々と意見交換ができるのがよい機会になります」(以上、高校生)

「生徒が主体的に考え、自分の意見を発信する授業の組み立て方について学ぶことができました」(参加した先生)



全体の様子



講師の藤原和博先生



高校生と大人の意見交換が必須!



授業後の振り返りも活発でした!

## 禾生第二小学校 やまなし食農菜園教育モデル実践事業

- 日 時 7月5日(金) 9:35~11:25
- 対 象 禾生第二小学校3年生(19名)
- 主 催 富士・東部農務事務所
- 講 師 富士山ドローンベースの方々
- 主 旨

山梨県が進める事業で、本県の特徴ある農業への関心を高めて、将来の担い手を育成するために実施されています。県内の小学生を対象に、農作業体験等を通じて食と農への理解を深めるとともに、スマート農業等の先進的な技術を学びきっかけづくりとして行われています。今回は、収穫体験を予定しています。

## ○内 容

- ①プログラミングドローン操縦体験では、まず設定されたコースを進めるように、距離等を測り、数値を入力します。その後実際にドローンを飛ばして、予定した飛行ができるか確認します。
- ②農業用ドローン実演では、実際に使用する大型のドローンを使って、農業散布のデモ実演がありました。ド迫力でした!

## ○感 想 (すべて小学生)

「プログラミングが難しかったけど、指示したとおりに動いてくれたときはすごく嬉しかった」「ドローンを操作できておもしろかった」「実際に農業で使う大きいドローンが見られて嬉しかったです」

### ドローンについて説明



### 飛行距離の計測



### プログラミング入力作業中



### 輪をうまく通過できるかな?



### 農業用のドローン観察「大きい!」



### 農業散布(水)デモ実演!



## 富士小学校・富士北稜高校 連携事業

- 日 時 7月17日(水) 10:00~11:20
- 場 所 富士北稜高校
- 参加者 富士小学校6年生19名  
富士北稜高校2、3年生10名



- 内 容
  - ・小学生による授業見学
  - ・高校生による施設紹介や質疑応答

### ○感想

「学校が広くて驚いた」「授業が楽しそうだった」「高校生が優しく接してくれた」(小学生)

## 連携事業① 都留興譲館高校 学校説明会

- 日 時 ①7月9日(火) ②7月19日(金) 13:30~16:00
- 場 所 都留興譲館高校
- 参加者 富士・東部管内の中学校の先生方のべ21名
- 内 容

この説明会は中高連携連絡会議での議論を受け、工業4科をはじめとする各科の実際の授業や実習の様子を見学することで、中学校の先生方に都留興譲館高校をより知っていただくために開催されました。当日は英語理数科や工業各科の授業を見学した後、高校担当者からの説明や質疑応答が行われました。

### ○参加した中学校の先生方の感想

#### 【英語理数科について】

「都留文科大学や附属小学校との交流など、幅広く活動し英語力をつける機会がたくさんあるのがとても魅力的だと思いました」「少人数できめ細かな授業を展開しており、手厚い指導をしていると感じました」「都留文科大学の留学生とのTT(チームティーチング)では、生徒が楽しそうに参加していたのが印象的でした」

#### 【工業4科について】

「素晴らしい施設と設備の中で学習できるということが分かりました」「専門的なことが学べるため、すでに夢ややりたいことがある生徒にとってとても魅力的であると思いました。実際、実習に取り組んでいる生徒たちの表情もとてもよかったです」「実際に見て、聴いて、触れると発見や感動があります。(中学生への)進路指導で具体的に生かせると思いました。また、熱心に学ぶ生徒たちを応援したくなりました」

#### 【その他】

「生徒たちが挨拶をしっかりしたり、目が合うと微笑み返してくれたり好感を持ちました」「コースによって学ぶ目的がはっきりしており、それにより達成感や成就感を味わえる学校だと感じました」「教室の掲示物など校内が整理整頓されており、落ち着いた学校生活を送っていると感じました」

高価な設備がズラリ!



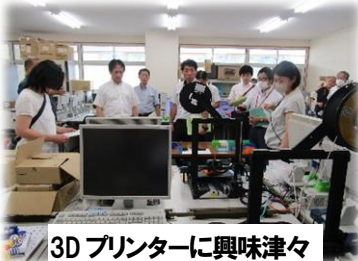
実習を見学する先生方



先生方に説明する高校生



留学生との英会話に特化した授業



3Dプリンターに興味津々



3Dプリンターを使った生徒の作品



生徒製作の自動車の運転も!



高校担当者による説明や質疑応答



## 連携事業② 南北都留教育相談ネットワーク会議

- 日 時 7月3日(水) 14:00~16:00
- 場 所 南都留合同庁舎 大会議室A
- 出席者 富士東部管内の教育相談等に携わる方々
- 講演会

演題 「SOSの受け止め方支援のつなぎ方」

講師 山梨大学大学院総合研究部  
教授 東海林 麗香 先生

内容

- ・ アドじゃんを用いてのアイスブレイク
- ・ SOSの受け止め方に関する具体的指導  
(受容共感傾聴、対話スキルについて)
- ・ 支援のつなぎ方に関する知識とやり方についての指導  
(学校の対応、コンサルテーション等について)

- 出席者の声

「本日習った『傾聴の姿勢の大切さ』など、すぐに現場に行かせる内容がたくさん詰まった素晴らしい講演会でした」

「いろいろな立場の方が参加した会議であったが、組織運営が必要な職員から子どもと直接ふれあう職員まで、それぞれの人にとって参考になる話題が豊富で、とても有意義な講演会であったと思います」



会議の様子



講演会の様子



東海林麗香先生



止まらない質疑応答①



止まらない質疑応答②



グループディスカッション

## 2つの空襲展 伝えよう戦争 つなげよう平和

### 第42回 吉田空襲展

- 日 時 7月28日(日)30日(火)31日(水)9:00~

- 場 所 富士吉田市民会館

- 主な内容

- ・ 各種展示 (武蔵航空のジオラマ、戦時品等)
- ・ 戦争、平和に関する読み聞かせ(退職女性教員の先生方、吉田高校放送部)
- ・ 慰霊式を含めた吉田遺跡フィールドワーク

- 感想

「今回見たり聞いたりして学んだことを家族や知り合いに伝え、戦争の悲惨さを多くの人に知ってもらい、二度と戦争を繰り返さないようにしたい」(フィールドワークに参加した小学生)

「自分たちが住む町で戦争があったことを身近に感じられた。戦争を自分事として捉え生活していきたい」(〃)  
「空襲によって大切な人や日常を奪われた人たちがいたという事実を身近に感じることができ自分自身の成長にもつながりました」(吉田高校放送部員)

「空襲展に参加するのは初めてでしたが、見聞でしか知らなかった戦争の記憶が身近に感じられ、吉田空襲についてより深く考えることができました」(〃)



吉田空襲展の歴史を伝える展示



軍服など戦時品の展示



吉田高校放送部の発表



惨禍を伝える写真の展示



武蔵航空の変電所跡



慰霊式



## 第30回 大月空襲展

○日 時 8月10日(土)9:00~18:00、11日(日)9:00~11:00

○場 所 大月市民会館2階ギャラリーほか

○主要内容

- ・展示 ・朗読 ・ビデオ上映
- ・都留高生発表（電子紙芝居）など

○感想

「自分の住む地域の近くにこんなにも悲惨な出来事があったなんて詳しく知らなかったので当時の人々の悲しみや苦しみを写真や展示品から思うと心が痛くなりました」（10代）

「竹槍や木銃、爆弾の破片など、実際に触れる展示物が多く、子どもたちが関心が持てる展示とと思いました」（30代）

「実際の爆弾を手にとりて触ることができたり、お亡くなりになった方々の手記や写真などから当時の悲痛な状況を知ることができました」（40代）

「戦争体験者が減っていく中、戦争の悲惨さを伝えることの大切さを感じています。これからも自分たちにできることをしっかり実践していきたいと思いました」（都留高校放送部）



空襲の詳細を伝える展示



ビデオ上映会



戦没者の写真などの展示



戦時中の生活を模した展示



都留高校放送部による発表



退職女性教員による朗読

## 各自治体の地域教育関連事業

### 1. 上野原市わくわくクッキング教室

○日 時 7月25日(木)~27日(土) 9:30~12:30

○場 所 総合福祉センターふじみ「栄養指導室」

○主催者 上野原市食生活改善推進員会、上野原市子育て保健課

○参加者 上野原市内の小学生と保護者のべ41名

○内 容

食生活改善推進員さんのマンツーマンによる食育を兼ねた料理教室。手軽で体によく、そしておいしい料理を作ります！今回のメニューは、「手作りチキンナゲット」「具だくさん味噌汁」「フルーツ寒天」の3種類です！

○感想

「たくさんの人と一緒に料理ができてとても楽しかったです」（小学生）「子どもと一緒に料理をして、包丁の扱いなど意外とできているとびっくりしました。これからはお家でも手伝ってもらおうと思います」（保護者）

「子どもたちが料理や健康に興味を持ってくれるきっかけになればとても嬉しく思います」（推進員）

「料理を通して子どもたちや地域の方々とコミュニケーションをとれることが素晴らしいと思います」（推進員）



講師の石川先生



「うまく包丁を使っているね！」



できあがり！



みんなでおいしくいただきました！

### 2. 上野原市夏休みこども講座

○場 所 上野原市文化ホール会議室など

○主催者 放課後子ども教室、上野原市中央公民館

○参加者 上野原市内の小学生と保護者 各回10~20名の定員

○内 容

7/29(月)つまみ細工「朝顔のクマさん」、7/30(火)ペーパークラフト「水に浮く紙舟」、7/31(水)縄文土器の作成、8/1(木)工作教室「プロフーモ」、8/9(金)と8/10(土)「親子パン教室」の5つの講座が開催されました！（工作教室を取材）



プロフーモ完成！



講師の東山あつみ先生



「こうするとかわいくなるかな？」



親子で協力して作成しました



## ○感想

「パーツをつけるところなど難しかったけど最後に完成して嬉しかった」「貝殻の配置など、どうすればかわくなるか考えて作ったので楽しかった」(小学生)

「子どもが頭や手を使って、普段できない作業をしたのでとても良い機会だと思いました」(保護者)

### 3. 大月市・上野原市「子ども交流会」

○日時 8月6日(火) 10:00~15:00

○場所 桂川ウェルネスパーク

○主催者 大月市(社会教育課、青少年育成大月市民会議)

上野原市(社会教育課、子育て保健課、育成会連絡協議会)

○参加者 大月市の小中学生23名 上野原市の小中学生12名

○内容

他地域の子どもたちとの交流を通して、コミュニケーション力や協働する力などの社会性を養うのがこの行事の目的となります。午前は「樹名板づくり」、午後は「森の万華鏡づくり」を行いました。初対面の友達ともみんな仲良く交流していました！

○感想

「自分から積極的にコミュニケーションを取ることで、より楽しく活動することを学びました！」(中学生)「他地域の友達と交流することができて嬉しかったし楽しかったです。よい夏休みの思い出ができました！」(中学生)「知らない友達ともお話しできたのがよかった」(小学生)



初対面の友達に自己紹介



樹名板を手に「はいチーズ！」



カレーを食べながら談笑



万華鏡に使う“花”を調達



「すご〜くキレイ！」



全員で記念撮影

### 4. 南都留地区ジュニアリーダー体験教室

○日時 8月7日(水) 9:00~15:30

○場所 まかいの牧場、アサヒ飲料富士山工場

○主催者 南都留地区社会教育担当者会

○参加者 南都留地区の小学生38名

○内容

南都留地区の小学校5~6年生のうち、申し込みをした38名が参加して行われました。毎年異なるプログラムで行われ、今年は自然体験学習を「まかいの牧場」で、環境学習を「アサヒ飲料富士山工場」で行いました。1班7~8名に分かれ、初対面の友達と様々な活動を通して人間関係を構築していきます。ここでの学びが彼らの将来に役立つことが期待されます！

○感想

「まかいの牧場で色々な動物とふれあったり、バーベキューをしたりして楽しかった。また、アサヒ飲料さんの工場では、ペットボトルの処分の仕方などエコについて学べてとてもよかったです」

「参加者みんなが他校の児童に積極的に話しかけていて、とてもよかったです」

「グループのメンバーがみんな初対面だったけど、みんなで協力してバーベキューなどできたのがよかったです」



はじめの会



乳牛についての講義



牛にタッチ！



ソフトクリームはレベチのおいしさ！



素敵な景色を背景にハイ、チーズ！



たくさんお肉を食べました！



今日一日でたくさん学び、たくさんの友達ができました！





## 5. 大月市英語体験活動

○日 時 8月5日(月)～7日(水)

○場 所 大月東小学校(1,2日目)、富士急行線車内(3日目)

○主催者 大月市教育委員会学校教育課(教育支援室)

○参加者 大月市の小学生5名、中学生11名、高校生28名

○内 容

1日目…大月東小学校にて、オリエンテーションおよび各グループに分かれて英会話のシナリオづくりを行いました。

2日目…グループごとに国際交流の方々やALTや英語の先生方を相手に疑似体験学習を行いました。また、外国人観光客の方々にお渡しするお土産づくりも行いました。

3日目…いよいよ本番。富士急行線に乗り、同乗した外国人観光客の方に英語でインタビューし、交流を図りました。

○感想

「初めはみんなと仲良くしたり、英語が話せるか心配だったけど、本番は楽しくやることができました。この活動で色々なことを学びました」(小学生)「ロンドンから来た方に、『みんなの英語はいいよ!』と言ってもらえたことが嬉しくて、これからも英語の学習を頑張ろうと思いました!」(中学生)

「小中学生に英文の作り方や発音を率先して教えてあげることができました。教えることも、学びに深く関わることを改めて感じることができました」(高校生)



初日のオリエンテーションの様子



協力してシナリオを作りました



2日目の疑似体験学習



3日目の本番。英会話トライ!



「相手の目を見て話してみよう!」



“Your English is very good!”

## 6. 都留少年少女発明クラブ

○日 時 8月3日(土) 9:30～12:00

○場 所 県立産業技術短期大学校 都留キャンパス

○主催者 都留市教育委員会生涯学習課

○協 力 県立産業技術短期大学校(産短大)

○参加者: 都留市内の小中学生 15名

○内 容: 「身近な材料を使って望遠鏡を作ろう」

・レンズとボール紙管、工作用紙を使っての望遠鏡作り。  
産短大の先生の指導の下、2種類の凸レンズの焦点距離を測り、鏡筒の長さを決めてボール紙管を切りました。

・完成した望遠鏡は、景色が逆さまに見えます。なぜ?

○感想

「ボール紙管を切るのが固くて大変だったけど、ピントを合わせて遠くの景色が見えた時は嬉しかった。」



「固くて切るのが難しい!」



「慎重に、慎重に!」



「何で逆さまに見えるんだろう?」



記念撮影

## 県立産業技術短期大学校 ～高校生体験プログラム～

○日 時 8月9日(金) 8:45～12:00

○場 所 県立産業技術短期大学校 都留キャンパス

○内 容 「プログラムを作って金属加工してみよう!」

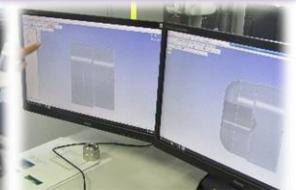
- ・NC旋盤やプログラムについての講義
- ・CADを用いてのデザイン作成
- ・CAMを用いての作品製作

○担当した先生のコメント

「専門的な内容でしたが、よく理解してくださり良い実習ができました。生産技術への興味を深めていただけたなら、ありがたいです」



CADの使い方を説明しています



デザインしたものがこちら



工作物を正確に加工するNC旋盤



無事完成しました!



# 大月キリストの教会幼稚園～支援活動への取り組み～

## 園児が育てた玉ねぎをフードバンクに寄贈

○日 時 6月13日(木) 10:30～11:00

○場 所 山梨フードバンクセンター

○ねらい 様々な人の温かさに触れ、人と関わる喜びや人の役に立つ喜びを知る

○内 容

- ・園児たちに「子どもの貧困問題」の解決策の一つにフードバンクがあることを伝える
- ・子どもたちが話し合った結果、自分たちで育てた玉ねぎを届けることに決める
- ・昨年9月の種まきから、苗づくり、畑への苗の移植、雑草取りなどの日々の世話、そして今年5月の収穫まですべて園児の手で行われる
- ・収穫した玉ねぎ400個を、山梨フードバンクセンターに届ける

○子どもたち感想と思い

「ちいさなたねからおおきくそだったことがふしぎ」「みんなでいっしょにがんばったからつかれた。でもがんばってよかった」「ようちえんのみんなでそだてた、おおきくてやわらかいたまねぎです。おなかをすかせているともだちに、とどけてください」

大月キリストの教会幼稚園さんは、東日本大震災の原発事故で被災した福島のお友達を13年間様々な形で支援し続けてきました。幼稚園生にも社会問題に関心を持ってもらい、社会に貢献する意義を学んでもらおうという素晴らしい取組を続けています。



こんな小さな種でした

苗作りの様子

理事長先生ありがとう!

苗を畑に移植します

秘技の水やりも園児の仕事

草取り大変だけど頑張るぞ!

「たまねぎできた～!」

「おいしく食べてもらいたいです!」

## こども園 仁～夏のイベント～

### 自然で学ぶ取り組み～川遊びから自然を学ぶ～

○日 時 8月3日(土) 10:00～15:00

○場 所 緑と太陽の丘キャンプ場(上野原市秋山)

○ねらい 川遊び等を通じて、自然の豊かさや厳しさを知る

○内 容

- ・川遊び…安全に十分配慮した上で、親子がふれあいながら川の楽しさを味わう
- ・マスのつかみ取り…場内の池に放たれた元気いっぱいのマスを素手でつかむ

○感 想

「川遊びが楽しかった」「魚を捕まえられて楽しかった」(園児)「先生方が安全に自然を満喫できる配慮をしてくれているので安心して参加できます」「普段なかなか見られない我が子の一面を見られてよかったです」(保護者)

こども園 仁さんは、昨年4月に上野原市に開園したこども園です。少人数縦割り保育で、自然遊びや地域との繋がりを大切にしています。園独自の教育カリキュラムが人気を呼んでいます。



「冷たくて気持ちいい!」

「一緒に流れてみよう!」

「ツルツルしてつかめな～い」

「やっと捕まえた!」

当てくじなどの楽しいイベント

魚をさばくのにもトライ!